

技術・家庭科(家庭分野2年生) 学習案内

◎中学校の技術・家庭(家庭分野)では…

「生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力の育成すること(指導要領より引用)」を目標としています。

◎そして中学2年生の技術・家庭(家庭分野)では主に次のような教材を扱う予定です。場合によっては別の教材に替えることもあります。

B:(1)「健康・安全で豊かな食生活」

- ①食品の見分け方、用途に応じた適切な選択
- ②日常賞の調理と地域の食文化

(2)「快適・安全で持続可能な住生活」

- ①家族が住まう空間としての住居の機能
- ②家族の安全を考えた住まい方

C:「自立した消費者となるために」

- 売買契約の仕組みと消費者被害
- 消費者の権利と責任



評価の観点

この3つの観点を評価していきます

主体的に学習に取り組む態度

- 生活を工夫・創造し、実践しようとしているか
- 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりしているか
 - ・粘り強い取り組み
 - ・自己の課題の調整力

知識・技能

- 何を理解しているか、何ができているか
- 家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解や技能が身に付けているか
- ・さまざまな生活場面に活用できる概念や技術

思考力・判断力・表現

- 理解していること、できることをどう使っているか
- これからの生活を展望した課題を解決する力が身に付いているか
- ・学んだ知識や技術を用いて家族・家庭と地域における問題を解決する力

★評価の方法

技術・家庭(家庭分野)では3つの観点を、主に次のような方法で見していきます。

1 授業中の活動の評価

◇実践的・体験的な活動を積極的に行っているか、興味・関心をもって意欲的に学習に取り組んでいるかを評価していきます。

- ・態度や行動、発言内容等から
- ・自己評価や相互評価等から
- ・作業への取りかかり、片づけ等から

◇製作品やワークシート等から、技能や創意工夫を評価していきます。

2 学習の成果物及び提出物

◇授業で使用したワークシートや製作品等から、学習状況や学習の成果を確認していきます。

◇レポート等を提出してもらい、学習の成果と自分の考えを確認していきます。

3 各種テストによる評価

◇定期テスト等の結果から、学習の到達状況を評価していきます。

